

# 資料集



# 1. 佐倉市健やかまちづくり推進委員会条例

平成17年3月24日条例第13号

改正 平成19年3月16日条例第9号  
平成20年3月21日条例第15号  
平成21年3月24日条例第8号  
平成25年10月1日横書き施行

## (設置)

第1条 市民の健康づくり事業の円滑かつ効率的な推進を図るとともに、本市の健やかまちづくりを基本理念とする健康増進計画（健康増進法（平成14年法律第103号）第8条第2項に規定するものをいう。以下同じ。）に基づく施策及び事業の推進に当たり、効果的な運用を期するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定により佐倉市健やかまちづくり推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

## (所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次に掲げるものとする。

- (1) 健康増進計画の策定及び変更に関して意見を述べること。
- (2) 健康増進計画に関する事業の進行管理及び評価に関すること。
- (3) その他市民の健康増進に関すること。

## (組織)

第3条 委員会は、15人以内の委員をもって組織し、委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 医師 3人以内
- (2) 歯科医師 1人
- (3) 保健所の職員 1人
- (4) 学識経験者 2人以内
- (5) 健康づくりの活動を実践する市民団体の代表者 3人以内
- (6) 市民 5人以内

## (任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員が委嘱されたときにおける当該身分を失った場合は、委員を辞したものとみなす。

(会長及び副会長)

第5条 委員会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員会は、必要があると認めるときは、関係者に対し会議への出席を求め、又は資料の提出を求めることができる。

(専門委員会)

第7条 委員会は、所掌事項のうち特定の事項を審議させるため、専門委員会を置くことができる。

2 市長は、委員会の求めに応じ、臨時委員を委嘱することができる。

3 臨時委員は、当該特定の事項に関する審議が終了したときは、解任されるものとする。

(庶務)

第8条 委員会及び専門委員会の庶務は、健康増進主管課において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、委員会及び専門委員会の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

(佐倉市母子保健連絡協議会条例の廃止)

2 佐倉市母子保健連絡協議会条例(平成9年佐倉市条例第14号)は、廃止する。

附 則(平成19年3月16日条例第9号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月21日条例第15号)

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成21年3月24日条例第8号)

この条例は、平成21年4月1日から施行する。

## 2. 佐倉市健やかまちづくり推進委員会名簿

(委嘱期間：令和3年11月18日～令和5年11月17日)

選出区分	氏名 ※令和5年11月17日時点
医師	佐藤 仁
歯科医師	秀島 潔
医師	越部 融
医師	川島 重信
保健所職員	萬谷 良子
学識経験者	山浦 晶
学識経験者	西口 元
市民団体代表	中田 修弘
市民団体代表	渡辺 幸恵
市民公募	小笠 法之
市民公募	石黒 雅一
市民公募	下田 由佳
市民公募	友崎 彰

(委嘱期間：令和5年11月18日～令和7年11月17日)

選出区分	氏名 ※令和6年3月31日時点
医師	佐藤 仁
歯科医師	秀島 潔
医師	越部 融
医師	川島 重信
保健所職員	萬谷 良子
学識経験者	山浦 晶
学識経験者	西口 元
市民団体代表	鈴木 卓也
市民団体代表	渡辺 幸恵
市民公募	金子 拓也
市民公募	川崎 美代子
市民公募	実川 勝
市民公募	大野 直道
市民公募	永山 恵美子

### 3. 計画策定の経緯

#### 2022（令和4）年度

開催日／時期	内 容
令和4年10月7日（金）	≪健やかまちづくり推進委員会≫ ・「健康さくら21（第2次）」【改訂版】の進捗状況について ・次期健康増進計画「健康さくら21（第3次）」の策定について
令和5年1月～2月	≪令和4年度市民健康意識調査≫ ・「健康さくら21（第3次）」策定のための市民健康意識調査を実施

#### 2023（令和5）年度

開催日／時期	内 容
令和5年6月30日（金）	≪第1回健やかまちづくり推進委員会≫ ・令和4年度市民健康意識調査の調査結果について ・「健康さくら21（第2次）」【改訂版】の進捗状況について
令和5年9月8日（金）	≪第2回健やかまちづくり推進委員会≫ ・「健康さくら21（第2次）」【改訂版】の最終評価について ・「健康さくら21（第3次）」骨子案について
令和5年11月10日（金）	≪第3回健やかまちづくり推進委員会≫ ・「健康さくら21（第3次）」素案について ・「健康さくら21（第3次）」の基本理念について
令和6年2月7日（水）	政策調整会議に付議、承認
令和6年2月9日（金）	≪第4回健やかまちづくり推進委員会≫ ・「健康さくら21（第3次）」案について
令和6年2月19日（月） ～3月4日（月）	パブリックコメントの実施
令和6年3月末	佐倉市健康増進計画「健康さくら21（第3次）」策定

## 4. 佐倉市の状況

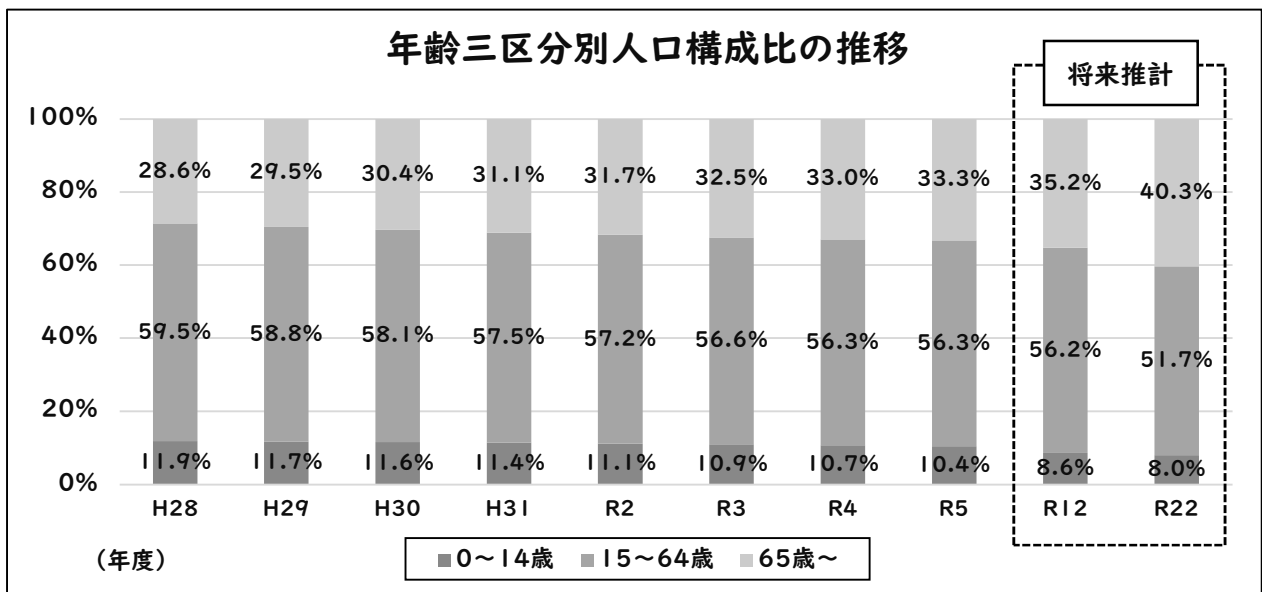
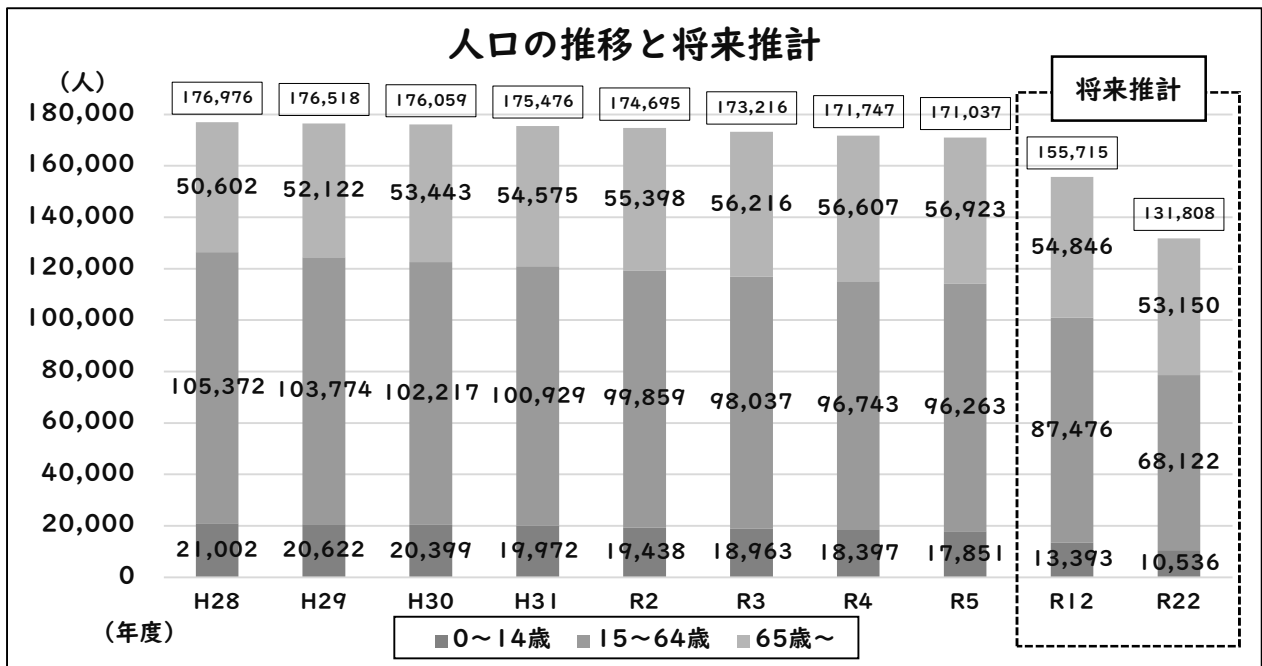
### (1) 人口の状況

#### ① 人口と世帯数

#### ア 人口の推移と将来推計

\*総人口は、平成28年以降、微減傾向です。令和22年には、約13.1万人まで減少する推計になっています。

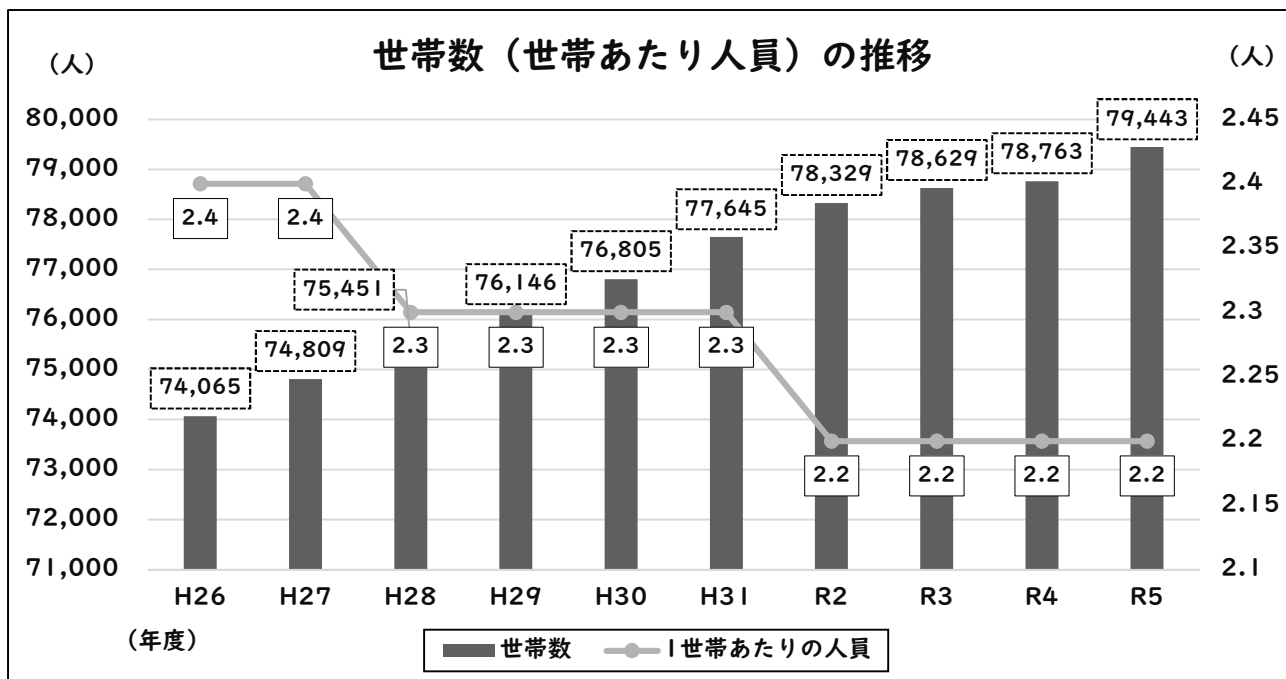
\*年少人口(0~14歳)と生産年齢人口(15~64歳)は減少し、老年人口(65歳以上)は増加しています。



【出典：佐倉市 住民基本台帳（各年3月末、外国人を含む）】

## イ 世帯数の推移

\*世帯数は年々増加していますが、1世帯あたりの人員は減少傾向にあります。



【出典：佐倉市統計書（令和3年度）】

## ② 出生と死亡の状況

### ア 妊娠届出状況（平成28年度～令和4年度）

\*平成28年度以降、妊娠届出数は減少しています。

\*令和2年度以降、妊娠11週までの間に妊娠届出をする割合は90%を超えています。

年度	妊娠届出数 (件)	0～11週		12週以上		産後・週数不詳	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
H28	1,054	958	90.9%	96	9.1%	0	0.0%
H29	1,035	946	91.4%	89	8.6%	0	0.0%
H30	922	824	89.4%	98	10.6%	0	0.0%
H31	861	771	89.5%	89	10.3%	1	0.1%
R2	864	797	92.2%	67	7.8%	0	0.0%
R3	782	731	93.5%	50	6.4%	1	0.1%
R4	757	692	91.4%	63	8.3%	2	0.3%

【出典：健康推進課（保健事業のまとめ）】



## イ 出生数、死亡数（平成26年度～令和3年度）

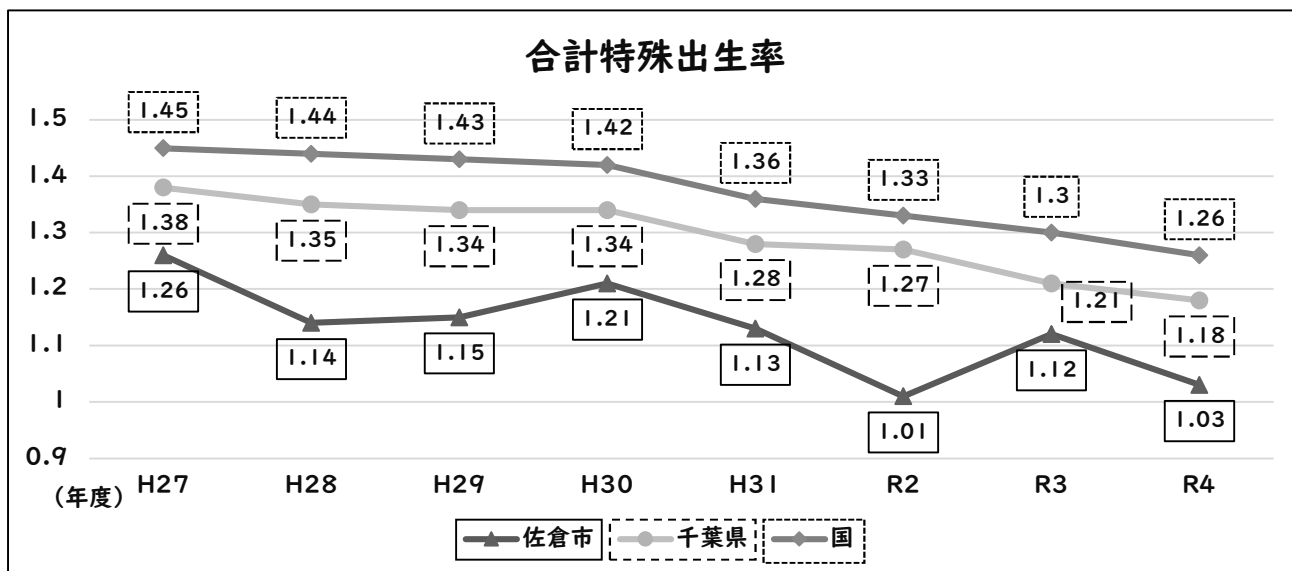
\*佐倉市の出生数は減少傾向にあります。令和3年度については令和2年度より増加しています。

	年次	出生		死亡		乳児死亡 (1歳未満再掲)		新生児死亡 (生後4週未満再掲)		死産				周産期死亡率	
		実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (出生千対)	実数	率 (出生千対)	自然死産		人工死産		実数	率 (出産千対)
										実数	率 (出産千対)	実数	率 (出産千対)		
佐倉市	H26	1,133	6.5	1,541	8.8	5	4.4	5	4.4	11	9.5	10	8.7	8	7
佐倉市	H27	1,146	6.7	1,666	9.7	1	0.9	1	0.9	17	14.4	14	11.9	3	2.6
佐倉市	H28	1,007	5.8	1,607	9.2	5	5	3	3	11	10.7	12	11.7	5	5
佐倉市	H29	989	5.7	1,642	9.5	2	2	1	1	11	11	3	3	6	6
佐倉市	H30	983	5.7	1,667	9.7	3	3.1	1	1	14	13.8	17	16.8	5	5.1
佐倉市	H31	886	5.2	1,805	10.5	-	-	-	-	3	3.3	9	10	3	3.4
佐倉市	R2	754	4.4	1,705	10	-	-	-	-	4	5.2	5	6.6	2	2.6
佐倉市	R3	809	4.8	1,838	10.9	1	1.2	1	1.2	4	4.9	8	9.7	3	3.7
千葉県	R4	38,426	6.3	65,244	10.7	79	2.1	29	0.8	405	10.3	339	8.7	128	3.3
全国	R5	811,622	6.6	1,439,856	11.7	1,399	1.7	658	0.8	8,082	9.8	8,195	9.9	2,741	3.4

【出典：千葉県衛生統計年報】

## ウ 合計特殊出生率（平成27年度～令和4年度）

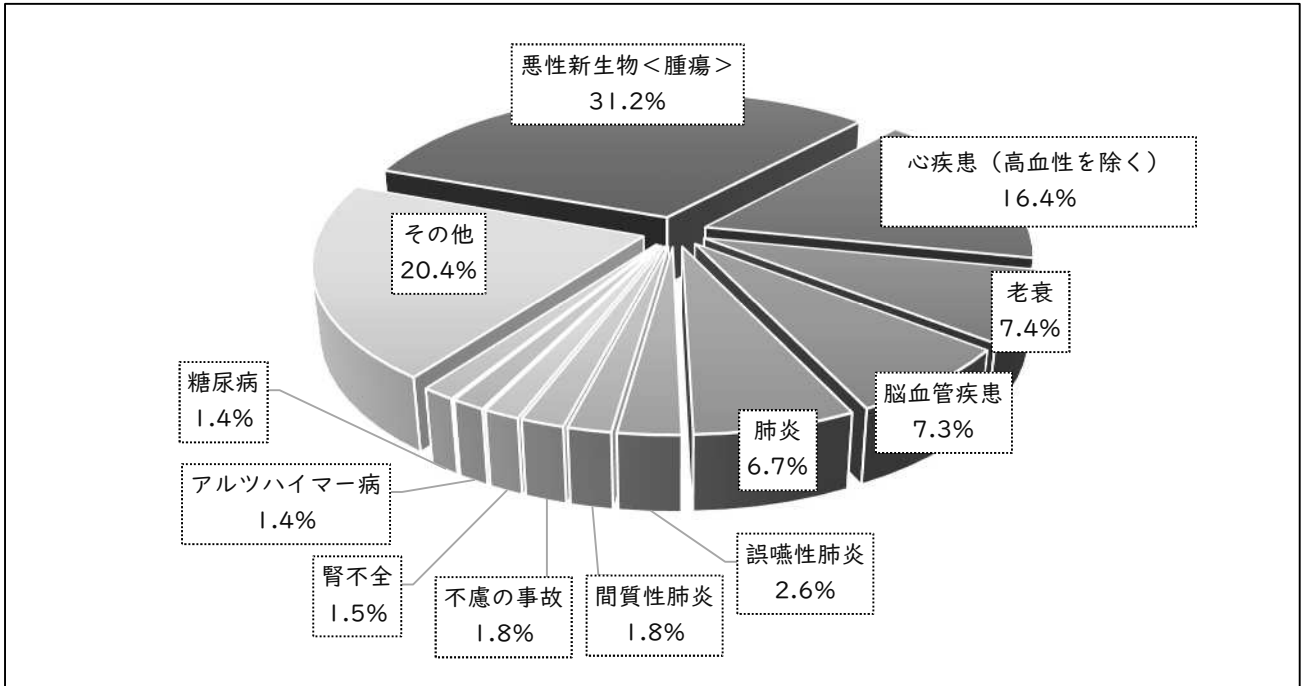
\*合計特殊出生率は、千葉県、全国と比較すると低くなっています。



【出典：千葉県「合計特殊出生率の推移」】

## エ 死因別死亡割合（令和3年度）

\*令和3年では、悪性新生物、心疾患、老衰の順に高い状況です。

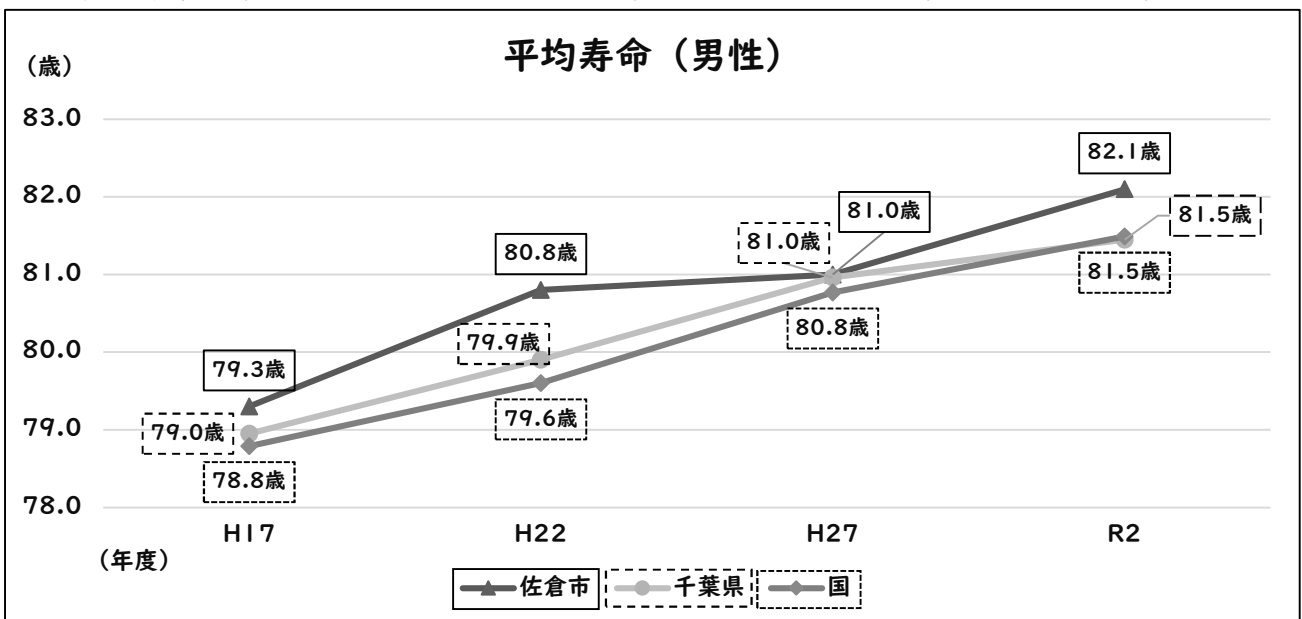


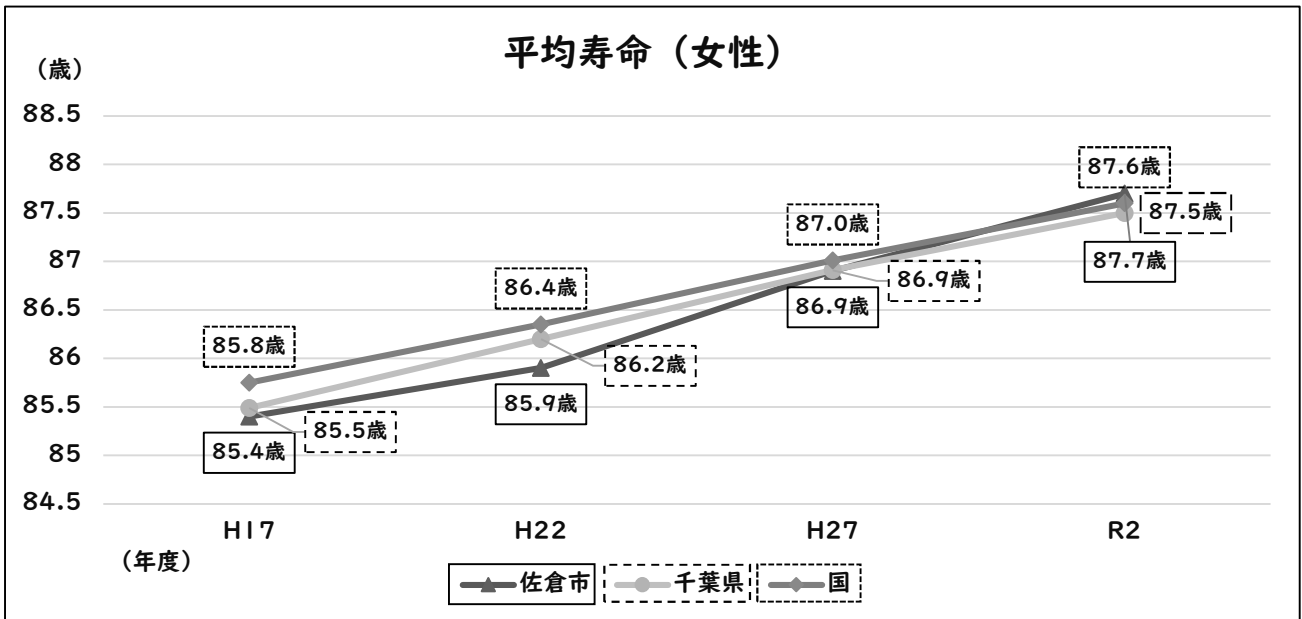
【出典：千葉県「衛生統計年報」（令和3年度）死因簡単分類表より作成】

### ③ 平均寿命と健康寿命

#### ア 平均寿命

\*男性は全国に比べて高い傾向にあり、女性は全国に比べて低い傾向にあります。  
\*平均寿命は年々高まっており、令和2年では、男性82.1歳、女性87.7歳です。



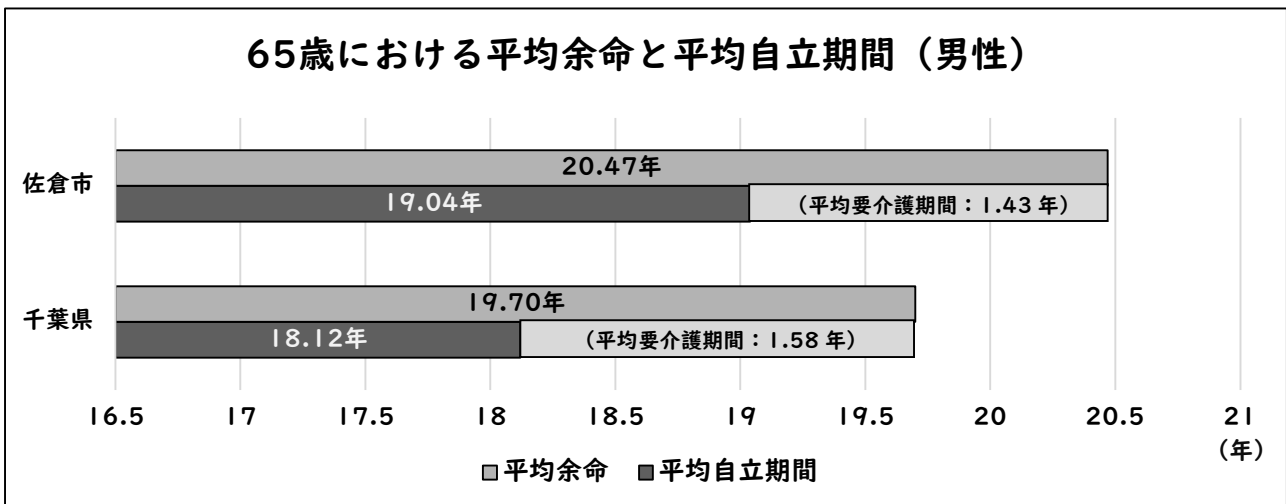


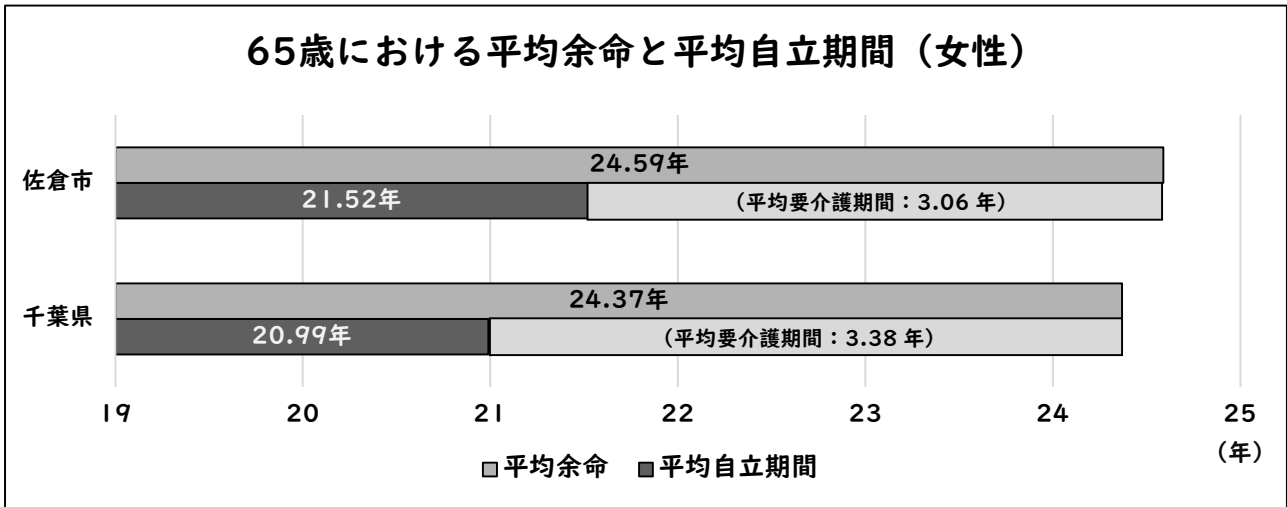
【出典：厚生労働省「市区町村別生命表」「都道府県別生命表」（平成17年度、平成22年度、平成27年度、令和2年度）】

### イ 65歳における平均余命と平均自立期間（令和元年度）

\*令和元年度の平均余命は、男性 20.47 年、女性 24.59 年、平均自立期間は、男性 19.04 年、女性は 21.52 年となっています。

\*平均余命と平均自立期間の差（日常生活動作が自立していない期間の平均：要介護 2 以上を指す）は、男性 1.43 年、女性 3.06 年で、県の平均よりも短くなっています。





【出典：千葉県「健康情報ナビ」(令和元年度)】

## (2) 市民の健康を取り巻く状況

### ① 国民健康保険加入者数の状況

#### ア 国民健康保険加入状況

\*国と構成割合を比較すると、65～74歳の構成割合が高く、40～64歳、39歳以下の構成割合が低くなっています。

被保険者数	平成30年度				令和4年度			
	佐倉市		県	国	佐倉市		県	国
	人数	割合	割合	割合	人数	割合	割合	割合
65～74歳	20,630人	49.5%	42.6%	40.0%	18,101人	49.2%	42.7%	40.4%
40～64歳	12,088人	29.0%	31.6%	32.8%	10,959人	30.1%	32.5%	33.1%
39歳以下	8,969人	21.5%	25.8%	27.2%	7,548人	20.7%	24.7%	26.5%
加入率	27.4%		42.4%	28.1%	26.0%		23.7%	26.2%

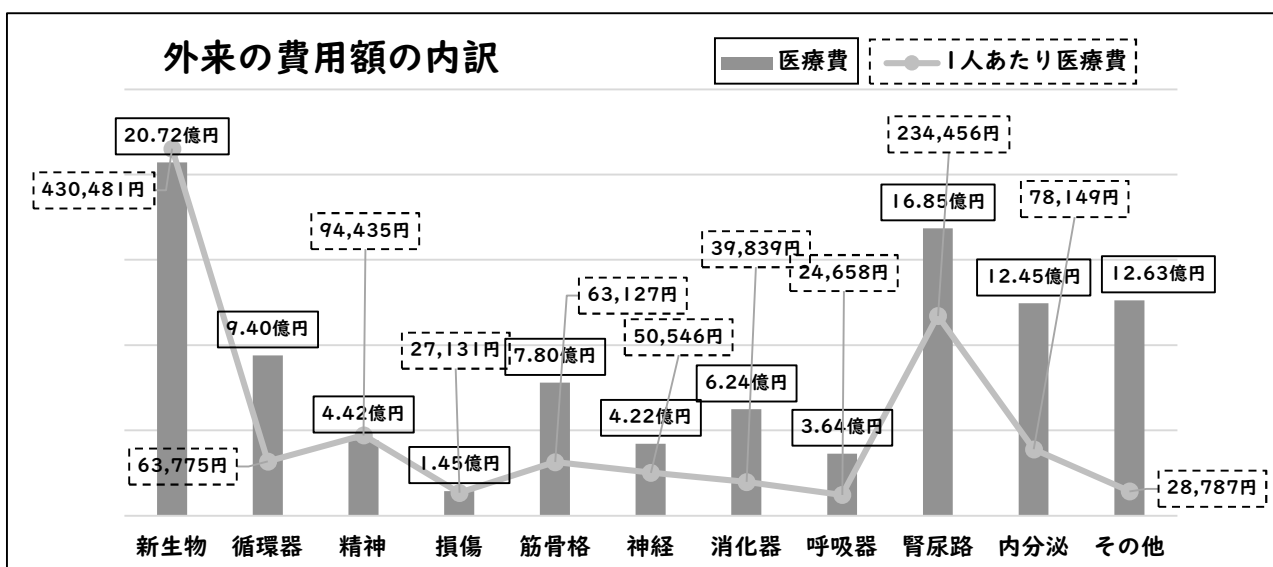
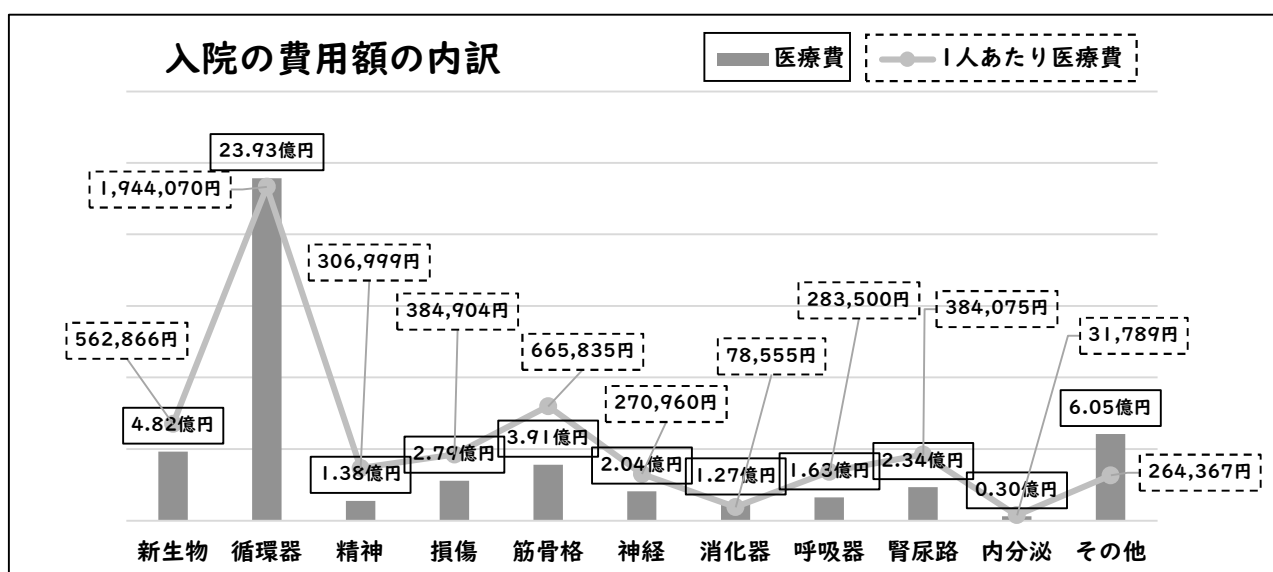
被保険者の構成割合と変化（※加入率は0～74歳の人口を分母として計算）

【出典：佐倉市国民健康保険第3期データヘルス計画】

## イ 疾病別医療費の状況

\*入院における疾病別医療費で最も高いものは循環器（23.93億円）となっており、次いで新生物（4.82億円）、筋骨格（3.91億円）の順で金額が高くなっています。一人当たりの医療費についても循環器（1,944,070円）が最も高く、次いで筋骨格（665,835円）、新生物（562,866円）の順になっています。

\*外来における疾病別医療費で最も高いものは新生物（20.72億円）となっており、次いで腎尿路（16.85億円）、循環器（9.40億円）の順で金額が高くなっています。一人当たりの医療費についても新生物（430,481円）が最も高く、次いで腎尿路（234,456円）、精神（94,435円）の順になっています。



【出典：佐倉市国民健康保険第3期データヘルス計画】

## ② 健診（検診）等の状況

### ア がん検診の状況（令和4年度）

\*受診率は、前年度と比較し、胃がん、肺がん、大腸がんは増加しています。

\*とくに、肺がんは、受診率が高くなっています。

検診の種類	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	受診率 前年度比	要精密 検査者 (人)	精密検査 受診者 (人)	がん 発見者 (人)
子宮頸がん	74,825	3,371	4.5	-0.4	62	42	1
乳がん	67,819	6,383	9.4	-0.5	277	234	27
胃がん	114,848	10,327	9.0	0.4	740	646	21
肺がん	114,848	16,754	14.6	0.5	387	313	5
大腸がん	114,848	15,606	13.6	0.2	879	582	29

### イ 特定健康診査の状況（法定報告値）

\*特定健診の受診者率は、令和3年度以降、増加傾向にあります。

年度	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
H30	29,823	10,649	35.7
R1	28,980	10,323	35.6
R2	28,691	7,256	25.3
R3	27,871	8,493	30.5
R4	26,147	8,652	33.1

### ウ 特定保健指導の状況（法定報告値）

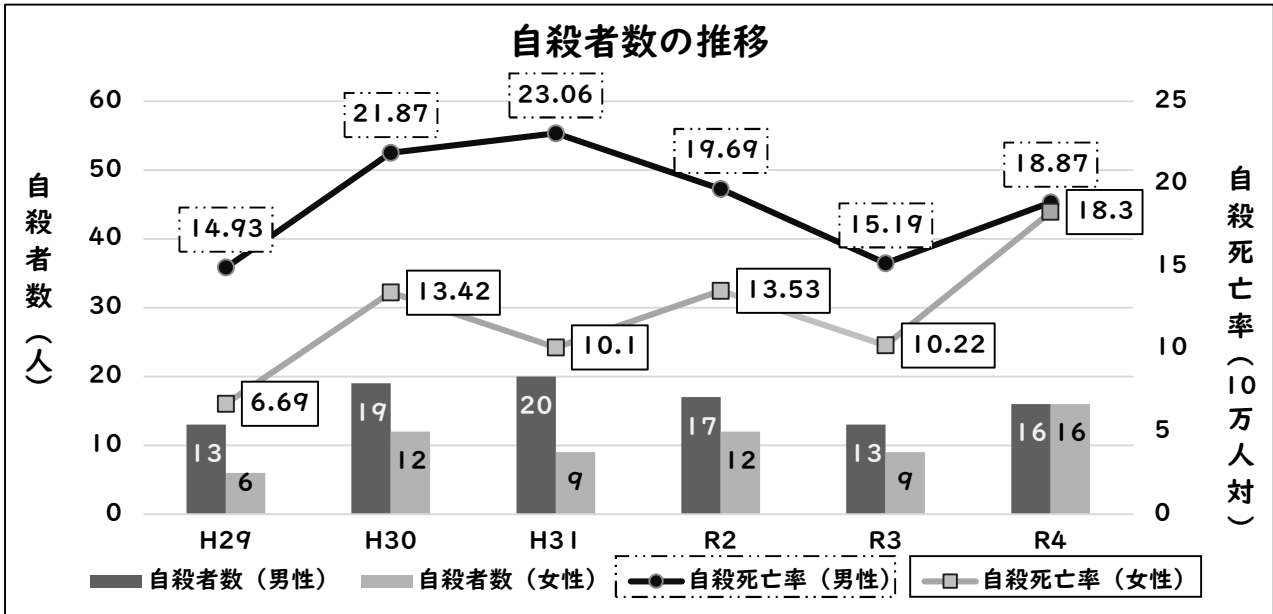
\*特定保健指導の実施率は、令和2年度以降、減少傾向にあります。

年度	特定保健指導の 対象者数（人）	特定保健指導の 終了者数（人）	特定保健指導の 実施率（%）
H30	1,250	237	19.0
R1	1,264	182	14.4
R2	920	183	19.9
R3	1,153	190	16.5
R4	1,072	163	15.2

### (3) 佐倉市における自殺の状況

#### ア 自殺者の推移

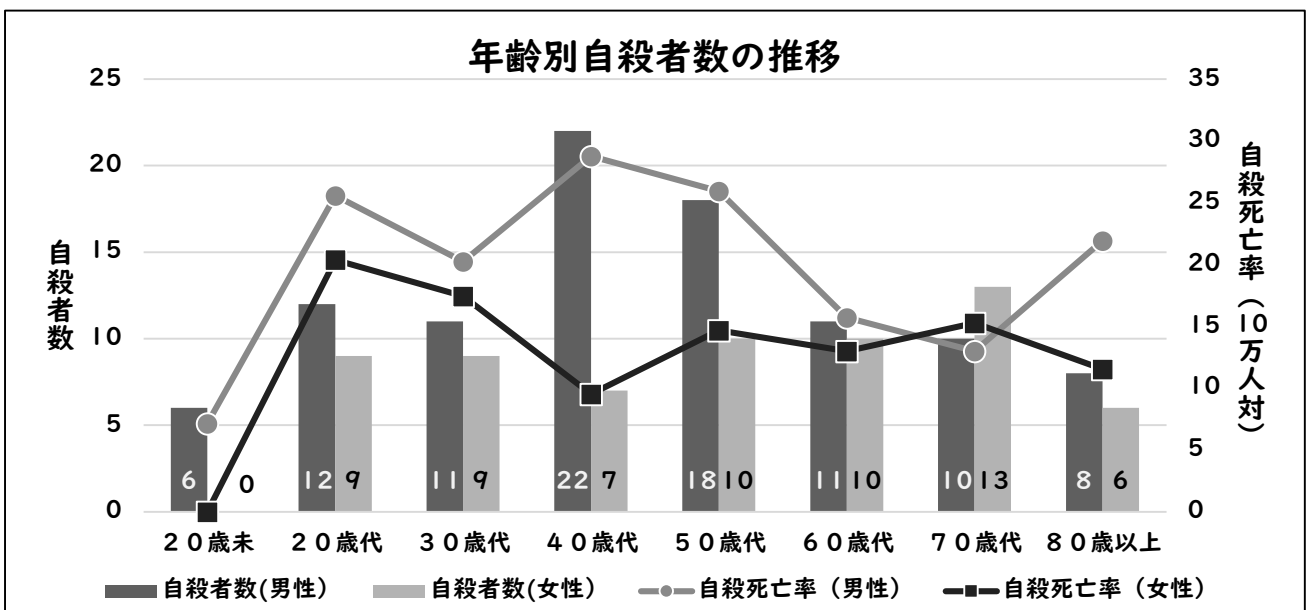
\*自殺者数は、男性の自殺者数が、女性の自殺者数を上回っています。



【出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」】

#### イ 年齢別自殺者数 (平成29年～令和4年)

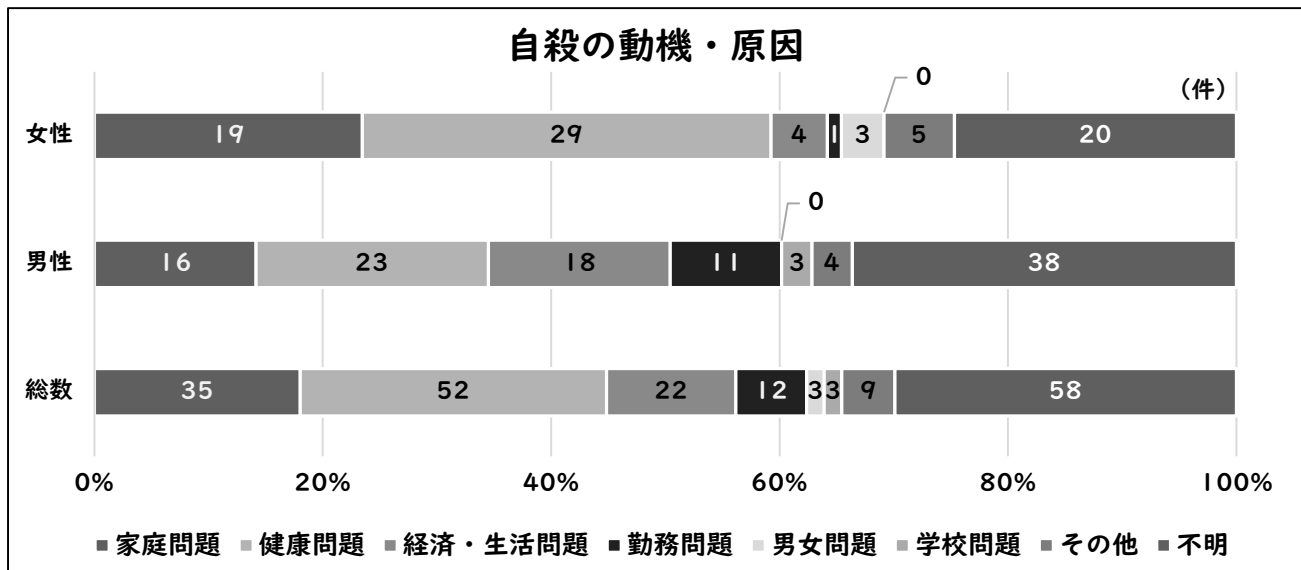
\*年齢別では、40歳代の男性が最も多くなっています。



【出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」】

## ウ 自殺の動機・原因（平成29年～令和4年）

\*男女ともに、自殺動機・原因で最も多いのは健康問題です。（※「不明」除く）



【出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」】

## エ 自殺の特徴（平成29年～令和3年）

\*市民の属性別にみると、60歳以上の女性・無職・同居者が1番多くなっています。

（※主な自殺の危機経路は、自殺に至るまでの一例として考えられているものです。）

上位5区分	自殺者数 5年（人）	割合	自殺率 （10万対）	背景にある 主な自殺の危機経路
1位： 女性60歳以上 無職同居	16	12.3%	13.2	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
2位： 男性40～59歳 有職同居	15	11.5%	16.4	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋ 仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位： 男性60歳以上 無職同居	12	9.2%	15.0	失業（退職）→生活苦＋介護の悩み（疲れ） ＋身体疾患→自殺
4位： 男性40～59歳 無職同居	9	6.9%	118.4	失業→生活苦→借金＋家族間の不和→ うつ状態→自殺
5位： 男性60歳以上 無職独居	9	6.9%	78.8	失業（退職）＋死別・離別→うつ状態→ 将来生活への悲観→自殺

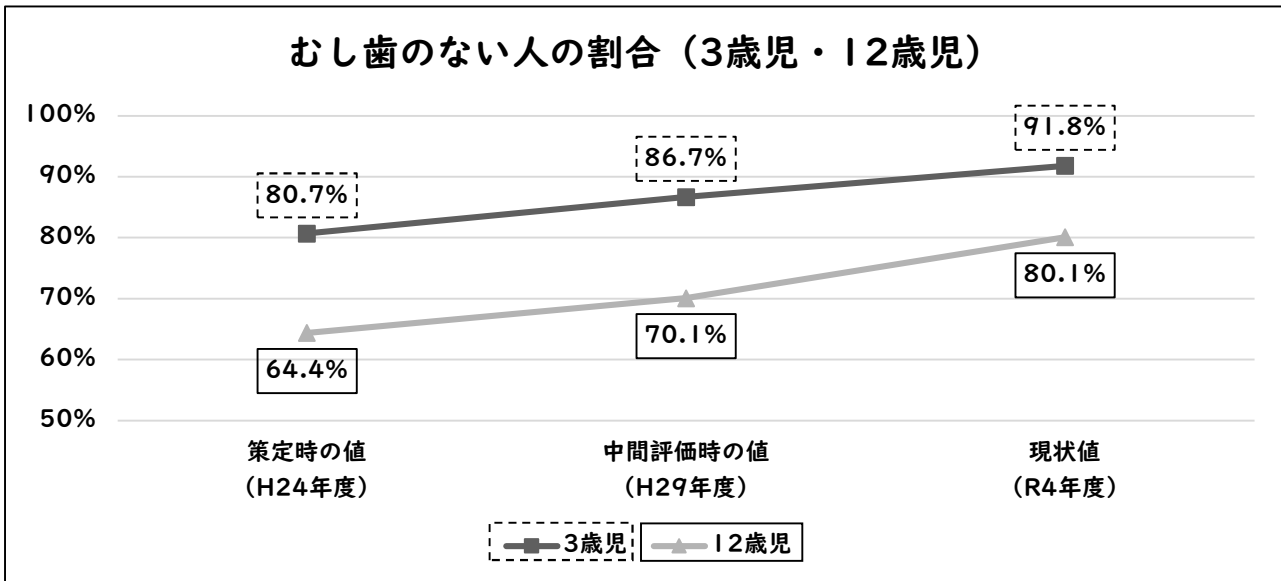
【出典：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル」】



## (4) 佐倉市における歯科口腔保健の状況

### ア むし歯のない人の割合（3歳児・12歳児）

\*むし歯のない人の割合は、3歳児・12歳児（中学1年生）とも年々、増加しています。  
 \*むし歯のある3歳児の割合、中学1年生の1人当たり平均むし歯数を千葉県・全国平均と比較すると佐倉市は低い状況です。



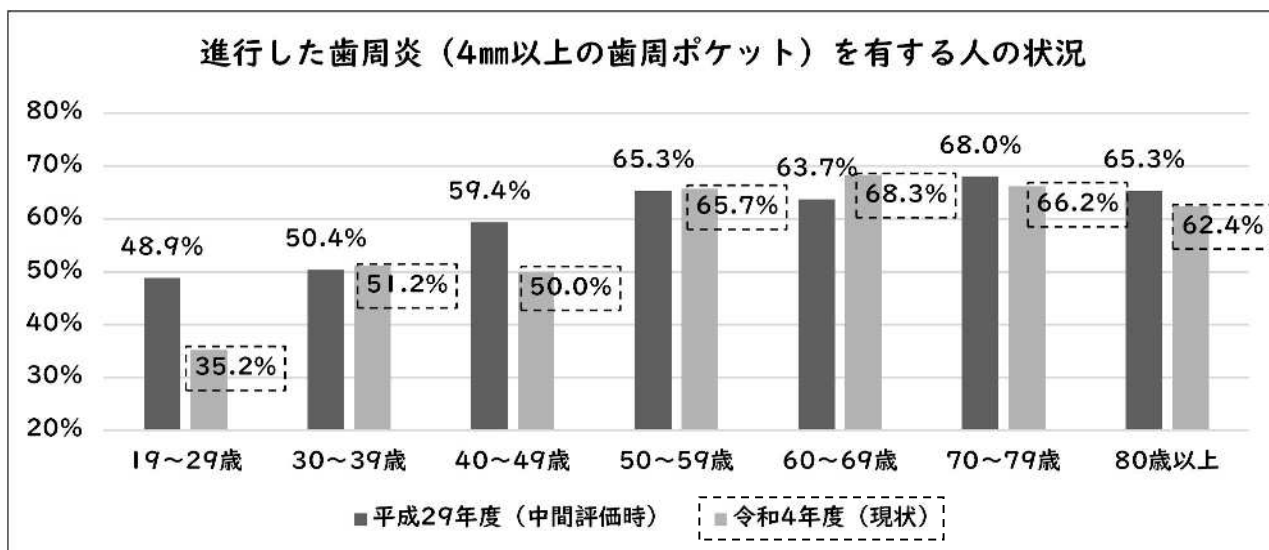
【出典：佐倉市3歳児健康診査、中学校定期健康診断】

### ※むし歯のある人に関するデータ（3歳児・中学1年生）

	佐倉市	千葉県	全国	データソース
3歳児 (むし歯のある幼児の割合)	8.3%	9.3%	10.2%	令和3年度 3歳児健康診査
中学1年生 (永久歯の1人当たり平均むし歯数)	0.41本	0.53本	0.63本	令和3年度 定期健康診断

## イ 歯周病の状況（19歳以上）

\*進行した歯周炎を有する人の状況を年代別にみると、30歳台・40歳台の約5割、50歳以上になると約7割が罹患しています。



【出典：佐倉市成人歯科健診】

## ウ 口腔機能の状況（75歳以上）

\*後期高齢者医療制度健康診査の口腔機能に関する問診の回答割合を千葉県・全国平均と比較すると佐倉市は低い状況です。

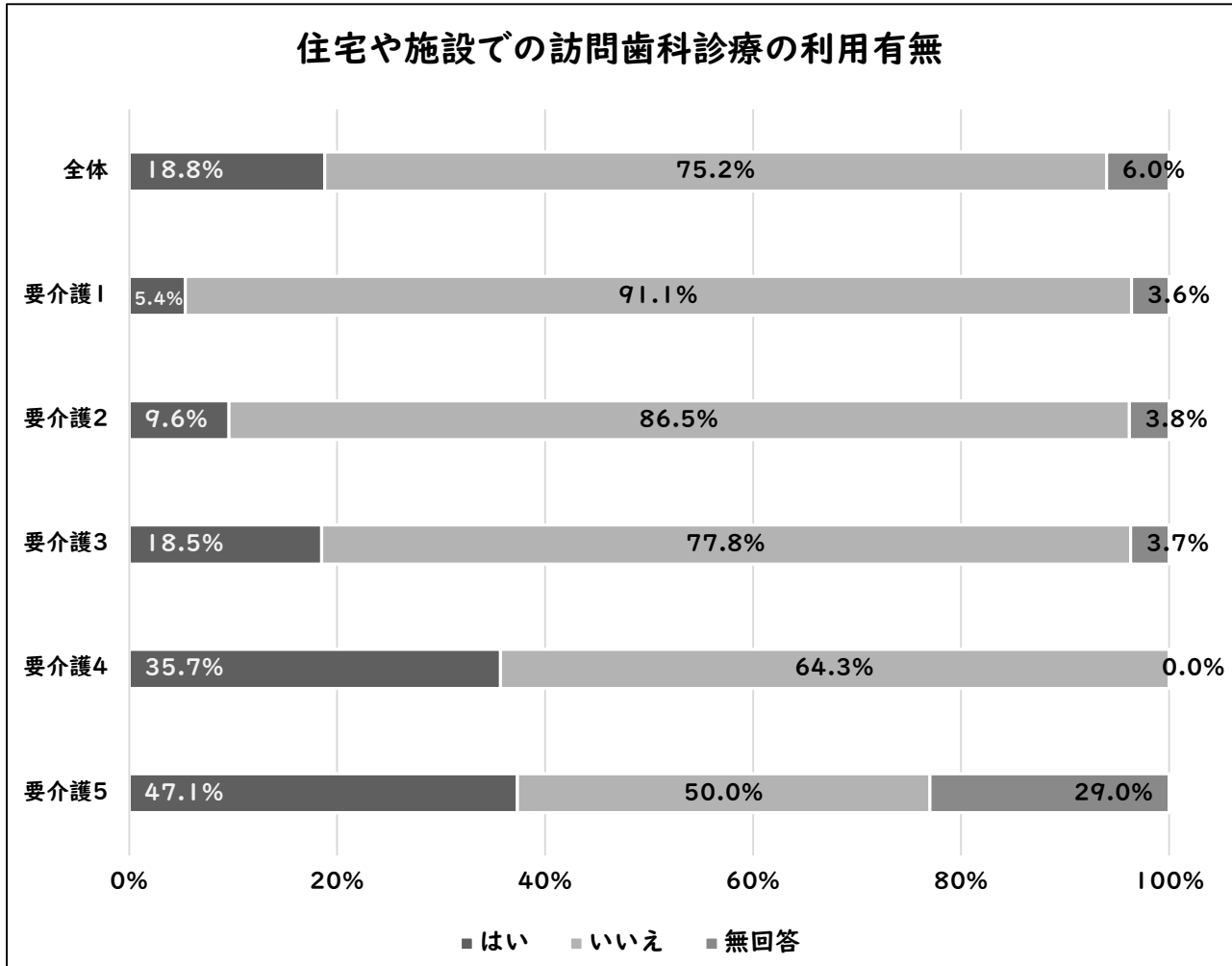
\*80歳で20歯以上、自分の歯を保有する人（8020達成者）の割合は61.9%で、国の現状51.6%より高い状況です。

問診項目	佐倉市	千葉県	全国	データソース
半年前に比べて固いものが食べにくい	22.0%	26.2%	27.7%	令和4年度 後期高齢者医療制度 健康診査
お茶や汁物等でむせる	19.3%	19.9%	20.9%	

8020達成者の割合	佐倉市	千葉県	全国	データソース
80歳（75～84歳）で20歯以上の自分の歯を保有する人	61.9%		51.6%	【市】令和4年度市民健康意識調査 【国】令和4年度歯科疾患実態調査

## エ 在宅や施設での訪問歯科診療の利用状況

\*在宅や施設での訪問歯科診療の利用の有無は、「はい」が18.8%、「いいえ」が75.2%、  
となっており、要介護度が上がるにつれて訪問歯科診療の利用が増加しています。



【出典：令和4年度要介護高齢者に対する口腔意識調査】

## 5. 令和4年度市民健康意識調査の概要

### (1) 調査の目的

「健康さくら21(第3次)」計画を策定するにあたり、市民の健康に対する意識や生活状況等を調査するために、令和4年度に「市民健康意識調査」を行いました。

### (2) 調査の対象

調査種類	対象者の選定方法及び人数
一般市民調査	住民基本台帳から無作為抽出による19歳以上の市内在住者2,000人
妊娠・出産・育児	乳児相談、もぐもぐ教室、1歳6か月児健診、3歳児健診対象の保護者800人
幼児・小学生調査	【幼児】1歳6か月健診、2歳幼児歯科健診、3歳児健診対象の保護者400人 【小学生】市内の3つの小学校に通学する2・4・6年生の保護者354人
中・高校生調査	【中学生】市内の3つの中学校に通学する2年生446人 【高校生】市内の2つの高校に通学する2年生367人

(3) 調査時期 : 2023(令和5)年1月～2月

### (4) 調査方法

- ① 一般市民調査 郵送配布・郵送回収
- ② 妊娠・出産・育児 郵送配布・郵送回収
- ③ 幼児・小学生調査 幼児：郵送配布・郵送回収、小学生：学校経由で配布・回収
- ④ 中・高校生調査 学校経由で配布・回収

### (5) 回収結果

調査種類	配布数	有効回収数	有効回収率
一般市民調査	2,000	721	36.1%
妊娠・出産・育児	800	431	53.9%
幼児・小学生調査	754	483	64.1%
中・高校生調査	813	723	88.9%
合計	4,367	2,358	54.0%

### (6) 市民健康意識調査結果(令和4年度実施)

佐倉市ホームページ「市民健康意識調査結果(令和4年度実施)」  
(<https://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/kenkosuishinka/167/17529.html>)



## 6. データソース一覧

### II-1 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健施策

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	妊娠・出産について満足している人の割合	90.0%	87.5%	令和4年度母子保健事業問診回答から(4か月乳児相談)
2	妊娠11週以下での妊娠届け出の割合	増加	91.4%	令和4年度事業実績(妊娠届出)
3	妊婦の飲酒率	0%	0%	令和4年度事業実績(妊娠届出)
4	妊婦の喫煙率	0%	1.2%	令和4年度事業実績(妊娠届出)
5	マタニティマークを使用したことのある母親の割合	90.0%	87.1%	令和4年度母子保健事業問診回答から(4か月乳児相談)
6	産後1か月時点での産後うつ のハイリスク者の割合	減少	6.4%	令和4年度事業実績(産婦健診)
7	産後ケア事業の利用率	増加	8.0%	令和4年度事業実績(産後ケア)
8	3歳児でむし歯のない者の割合 【V-1より再掲】	95.0%	91.8%	令和4年度事業実績(3歳児健康 診査)
9	1歳6か月児で仕上げ磨きをす る親の割合【V-1より再掲】	80.0%	65.5%	令和4年度母子保健事業問診回答 から(1歳6か月児健診)
10	かかりつけの小児科医を持つ こどもの割合	4か月児 85.0%	4か月児 77.0%	令和4年度母子保健事業問診回答 から(4か月乳児相談、3歳児健 診)
		3歳児 95.0%	3歳児 88.5%	
11	小児救急電話相談(#8000)を 知っている親の割合	90.0%	87.4%	令和4年度母子保健事業問診回答 から(4か月乳児相談)
12	朝食を欠食する幼児の割合	0%	1.0%	令和4年度市民健康意識調査
13	乳幼児期に体罰や暴言、ネグレ クトなどによらない子育てを している親の割合	増加	4か月児 96.3%	令和4年度母子保健事業問診回答 から(4か月乳児相談、1歳6か 月児健診、3歳児健診)
		増加	1歳6か月児 87.4%	
		増加	3歳児 73.4%	
14	育てにくさを感じたときに対 処できる親の割合	90.0%	84.3%	令和4年度母子保健事業問診回答 から(4か月乳児相談、1歳6か 月児健診、3歳児健診の平均)
15	こどもの社会性の発達過程を 知っている親の割合	95.0%	91.9%	令和4年度母子保健事業問診回答 から(4か月乳児相談、1歳6か 月児健診、3歳児健診の平均)

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
16	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	現状維持	96.0%	令和4年度母子保健事業問診回答から(4か月乳児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診の平均)
17	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合	4か月児 92.0%	4か月児 90.3%	令和4年度母子保健事業問診回答から(4か月乳児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診)
		1歳6か月児 85.0%	1歳6か月児 76.7%	
		3歳児 75.0%	3歳児 67.5%	
18	積極的に育児をしている父親の割合	75.0%	68.6%	令和4年度母子保健事業問診回答から(4か月乳児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診の平均)
19	風呂場の事故防止のために、子どもがドアを開けられないように工夫している家庭の割合(1歳児)	増加	32.5%	令和4年度市民健康意識調査
20	育児期間中の両親の喫煙率	父 20.0%	父 28.2%	令和4年度母子保健事業問診回答から(4か月乳児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診の平均)
		母 4.0%	母 4.4%	
21	BCGを1歳までに受ける者の割合	100.0%	97.1%	令和4年度事業実績
22	1歳6か月までに麻しん風しんの予防接種を終了している者の割合	増加	92.5%	令和4年度母子保健事業問診回答から(1歳6か月児健診)
23	1歳6か月までに四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)の予防接種(1期初回)を終了している者の割合	増加	97.3%	令和4年度母子保健事業問診回答から(1歳6か月児健診)
24	乳幼児健康診査の受診率(1歳6か月児)	増加	96.8%	令和4年度事業実績
25	乳幼児健康診査の受診率(3歳児)	増加	93.3%	令和4年度事業実績

## II-2 学童期・思春期、生涯を見据えた保健施策

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	痩身傾向の中学生男子の割合	減少	2.1%	令和4年度児童生徒の肥満度調査(中学2年生)

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	瘦身傾向の中学生女子の割合	減少	4.6%	令和4年度児童生徒の肥満度調査(中学2年生)
2	肥満傾向の小学生男子の割合	減少	7.7%	令和4年度児童生徒の肥満度調査(小学5年生)
	肥満傾向の小学生女子の割合	減少	5.5%	令和4年度児童生徒の肥満度調査(小学5年生)
3	朝食を欠食する小学生の割合	0%	1.8%	令和4年度市民健康意識調査
	朝食を欠食する中学生の割合	0%	5.5%	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(中学2年生)
	朝食を欠食する高校生の割合	0%	10.4%	令和4年度市民健康意識調査
4	1週間の総運動時間(体育の授業除く)が60分未満の小学生男子の割合	4.4%	8.0%	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(小学5年生)
	1週間の総運動時間(体育の授業除く)が60分未満の小学生女子の割合	7.2%	14.7%	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(小学5年生)
	1週間の総運動時間(体育の授業除く)が60分未満の中学生男子の割合	3.9%	9.0%	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(中学2年生)
	1週間の総運動時間(体育の授業除く)が60分未満の中学生女子の割合	9.1%	15.6%	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(中学2年生)
5	中学生・高校生の飲酒者の割合	0%	5.3%	令和4年度市民健康意識調査
6	中学生・高校生の喫煙者の割合	0%	1.1%	令和4年度市民健康意識調査
7	12歳児で歯肉に炎症所見を有する者の割合【V-1より再掲】	10.0%	18.3%	令和4年度定期健康診断(中学1年生)

### Ⅲ-1 個人の行動と健康状態の改善

#### 1) 生活習慣の改善 1. 栄養・食生活

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	適正体重を維持している者の増加(肥満、若年女性のやせ、低栄養傾向の高齢者の減少) 65歳未満 BMI18.5~25未満	66.0%	-	-
	適正体重を維持している者の増加(肥満、若年女性のやせ、低栄養傾向の高齢者の減少) 男性 65歳以上 BMI20を超え25未満	66.0%	-	-

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	適正体重を維持している者の増加(肥満、若年女性のやせ、低栄養傾向の高齢者の減少) BMI18.5未満の20～30歳代女性の割合	15.0%	-	-
	適正体重を維持している者の増加(肥満、若年女性のやせ、低栄養傾向の高齢者の減少) BMI20以下の高齢者(65歳以上)の割合	13.0%	-	-
2	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	70.0%	60.9%	令和4年度市民健康意識調査
3	朝食を必ず食べる人の割合(20歳代男性)	増加	50.0%	令和4年度市民健康意識調査
	朝食を必ず食べる人の割合(30歳代男性)	増加	70.6%	令和4年度市民健康意識調査
	朝食を必ず食べる人の割合(40歳代男性)	増加	65.6%	令和4年度市民健康意識調査
	朝食を必ず食べる人の割合(20歳代女性)	増加	45.8%	令和4年度市民健康意識調査
	朝食を必ず食べる人の割合(30歳代女性)	増加	74.1%	令和4年度市民健康意識調査

### Ⅲ-1 個人の行動と健康状態の改善

#### 1) 生活習慣の改善 2. 身体活動・運動

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	日常生活の中で1日に歩く歩数(時間) 20～64歳 男性	8,000歩 (80分)	6,057歩	令和4年度市民健康意識調査
	日常生活の中で1日に歩く歩数(時間) 20～64歳 女性	8,000歩 (80分)	5,772歩	令和4年度市民健康意識調査
	日常生活の中で1日に歩く歩数(時間) 65歳以上 男性	6,000歩 (60分)	4,868歩	令和4年度市民健康意識調査
	日常生活の中で1日に歩く歩数(時間) 65歳以上 女性	6,000歩 (60分)	4,838歩	令和4年度市民健康意識調査
2	運動が習慣化(30分週2回以上もしくは週1回1時間以上)している人の割合 20～64歳 男性	30.0%	27.3%	令和4年度市民健康意識調査
	運動が習慣化(30分週2回以上もしくは週1回1時間以上)している人の割合 20～64歳 女性	30.0%	23.7%	令和4年度市民健康意識調査
	運動が習慣化(30分週2回以上もしくは週1回1時間以上)している人の割合 65歳以上 男性	50.0%	36.3%	令和4年度市民健康意識調査
	運動が習慣化(30分週2回以上もしくは週1回1時間以上)している人の割合 65歳以上 女性	50.0%	37.9%	令和4年度市民健康意識調査



No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
3	ロコモティブシンドロームを認知している人の割合	80.0%	33.0%	令和4年度市民健康意識調査
4	足腰に痛みのある高齢者の減少(千人当たり)男性	130人	147人	令和4年度市民健康意識調査
	足腰に痛みのある高齢者の減少(千人当たり)女性	130人	148人	令和4年度市民健康意識調査
5	社会参加している高齢者の割合 男性	80.0%	49.0%	令和4年度市民健康意識調査
	社会参加している高齢者の割合 女性	80.0%	52.7%	令和4年度市民健康意識調査

### Ⅲ-1 個人の行動と健康状態の改善

#### 1) 生活習慣の改善 3. 飲酒

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	適正飲酒量を認識している人の割合	100.0%	64.9%	令和4年度市民健康意識調査
2	生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を飲酒している男性の割合	10.0%	14.5%	令和4年度市民健康意識調査
	生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を飲酒している女性の割合	10.0%	12.8%	令和4年度市民健康意識調査
3	妊婦の飲酒率【Ⅱ-1より再掲】	0%	0%	令和4年度事業実績(妊娠届出)
4	中学生・高校生の飲酒者の割合【Ⅱ-2より再掲】	0%	5.3%	令和4年度市民健康意識調査

### Ⅲ-1 個人の行動と健康状態の改善

#### 1) 生活習慣の改善 4. 喫煙・COPD

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	成人の喫煙の割合	6.0%	8.5%	令和4年度市民健康意識調査
2	中学生・高校生の喫煙者の割合【Ⅱ-2より再掲】	0%	1.1%	令和4年度市民健康意識調査
3	妊婦の喫煙率【Ⅱ-1より再掲】	0%	1.2%	令和4年度事業実績(妊娠届出)
4	受動喫煙(行政機関)の機会を有する者の割合	0%	3.1%	令和4年度市民健康意識調査
	受動喫煙(医療機関)の機会を有する者の割合	0%	2.9%	令和4年度市民健康意識調査
5	受動喫煙の配慮義務があることの認知度	100.0%	85.2%	令和4年度市民健康意識調査
6	COPDを認知している人の割合	80.0%	26.1%	令和4年度市民健康意識調査

### Ⅲ-1 個人の行動と健康状態の改善

#### 2) 生活習慣病（NCDs）の発症予防・重症化予防 1. がん

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	がん検診の受診者の割合（子宮頸がん）	60.0%	4.5%	-
2	がん検診の受診者の割合（乳がん）	60.0%	9.4%	-
3	がん検診の受診者の割合（胃がん）	60.0%	9.0%	-
4	がん検診の受診者の割合（肺がん）	60.0%	14.6%	-
5	がん検診の受診者の割合（大腸がん）	60.0%	13.6%	-

### Ⅲ-1 個人の行動と健康状態の改善

#### 2) 生活習慣病（NCDs）の発症予防・重症化予防 2. 生活習慣病（NCDs）

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	18.7%	31.8%	令和3年度法定報告
2	特定健康診査の実施の割合	60.0%	33.1%	令和4年度法定報告
3	特定保健指導の実施の割合	60.0%	15.2%	令和4年度法定報告
4	糖尿病治療継続者の割合	75.0%	55.9%	令和4年度市民健康意識調査

### Ⅲ-1 個人の行動と健康状態の改善

#### 3) 生活機能の維持・向上

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	ロコモティブシンドロームを認知している人の割合【Ⅲ-1より再掲】	80.0%	33.0%	令和4年度市民健康意識調査
2	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合	9.4%	12.2%	令和4年度市民健康意識調査

### Ⅲ-2 社会環境の質の向上

#### 1) 社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	地域の人々とのつながりが強いと思う者の割合	45.0%	-	-
2	社会活動を行っている者の割合（就労・就学を含む）	86.0%	81.0%	令和4年度市民健康意識調査
3	地域などで共食をしている者の割合	30.0%	-	-
4	ゲートキーパーについて市民の3人に1人以上が聞いたことがあるようにする	33.0%	17.8%	令和4年度市民健康意識調査
5	ストレスを解消できている人の割合（成人）	70.0%	61.6%	令和4年度市民健康意識調査

### Ⅲ-2 社会環境の質の向上

#### 2) 自然に健康になれる環境づくり

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	日常生活の中で1日に歩く歩数(時間) 20~64歳 男性【Ⅲ-1より再掲】	8,000歩 (80分)	6,057歩	令和4年度市民健康意識調査
	日常生活の中で1日に歩く歩数(時間) 20~64歳 女性【Ⅲ-1より再掲】	8,000歩 (80分)	5,772歩	令和4年度市民健康意識調査
	日常生活の中で1日に歩く歩数(時間) 65歳以上 男性【Ⅲ-1より再掲】	6,000歩 (60分)	4,868歩	令和4年度市民健康意識調査
	日常生活の中で1日に歩く歩数(時間) 65歳以上 女性【Ⅲ-1より再掲】	6,000歩 (60分)	4,838歩	令和4年度市民健康意識調査
2	受動喫煙(行政機関)の機会を有する者の割合 【Ⅲ-1より再掲】	0%	3.1%	令和4年度市民健康意識調査
	受動喫煙(医療機関)の機会を有する者の割合 【Ⅲ-1より再掲】	0%	2.9%	令和4年度市民健康意識調査
3	受動喫煙の配慮義務があることの認知度 【Ⅲ-1より再掲】	100%	85.2%	令和4年度市民健康意識調査

### Ⅳ-1 こころの健康づくり

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	ストレスを解消できている人の割合(成人) 【Ⅲ-2より再掲】	70.0%	61.6%	令和4年度市民健康意識調査
2	ストレスを解消できている人の割合(中・高校生)	70.0%	62.9%	令和4年度市民健康意識調査
3	睡眠による休養が十分とれていない人の割合	15.0%	18.5%	令和4年度市民健康意識調査
4	睡眠時間が十分に確保できている者の割合 (20~59歳:6時間から9時間) (60歳~:6時間から8時間)	60.0%	-	-
5	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合【Ⅲ-1より再掲】	9.4%	12.2%	令和4年度市民健康意識調査
6	一生のうちにうつ病になる頻度を知っている人の割合	70.0%	64.8%	令和4年度市民健康意識調査

### Ⅳ-2 自殺予防のための地域づくり

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	自殺予防週間や自殺対策強化月間について市民の3人に2人以上が聞いたことがあるようにする	50.8%	35.6%	令和4年度市民健康意識調査

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
2	ゲートキーパーについて市民の3人に1人以上が聞いたことがあるようにする【Ⅲ-2より再掲】	33.0%	17.8%	令和4年度市民健康意識調査
3	悩みを抱える人が相談を受けられる、24時間365日の無料電話相談(よりそいホットライン)などについて、市民の3人に2人以上が聞いたことがあるようにする	79.1%	74.1%	令和4年度市民健康意識調査
4	悩みを抱える人が相談を受けられる、SNSを活用した相談(生きずらびっと、こころのホットチャットなど)について、市民の3人に2人以上が聞いたことがあるようにする	66.0%	45.9%	令和4年度市民健康意識調査
5	市民や市民に関わる人を対象としたゲートキーパー養成研修を実施する	年2回以上	年2回以上	-
6	社会参加している高齢者の割合(男性) 【Ⅲ-1より再掲】	80.0%	49.0%	令和4年度市民健康意識調査
	社会参加している高齢者の割合(女性) 【Ⅲ-1より再掲】	80.0%	52.7%	令和4年度市民健康意識調査
7	自殺者の減少(人口10万人あたり)	13.01人	15.94人	地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

### Ⅳ-3 生きるにつながる支援対策の充実

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	自殺者の減少(人口10万人あたり) 【Ⅳ-2より再掲】	13.01人	15.94人	地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)
2	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合【Ⅲ-1より再掲】	9.4%	12.2%	令和4年度市民健康意識調査
3	悩みを抱える人が相談を受けられる、24時間365日の無料電話相談(よりそいホットライン)などについて、市民の3人に2人以上が聞いたことがあるようにする【Ⅳ-2より再掲】	79.1%	74.1%	令和4年度市民健康意識調査
4	悩みを抱える人が相談を受けられる、SNSを活用した相談(生きずらびっと、こころのホットチャットなど)について、市民の3人に2人以上が聞いたことがあるようにする【Ⅳ-2より再掲】	66.0%	45.9%	令和4年度市民健康意識調査

### V-1 歯科疾患の予防と歯・口腔に関する健康格差の縮小

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	1歳6か月児で仕上げ磨きをする親の割合	80.0%	65.5%	令和4年度母子保健事業問診回答から(1歳6か月児健診)
2	3歳児でむし歯のない者の割合	95.0%	91.8%	令和4年度3歳児健康診査
3	3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合	0%	3.2%	令和4年度3歳児健康診査
4	12歳児でむし歯のない者の割合	90.0%	80.1%	令和4年度定期健康診断(中学1年生)
5	12歳児で歯肉に炎症所見を有する者の割合	10.0%	18.3%	令和4年度定期健康診断(中学1年生)
6	19歳以上におけるむし歯を有する者の割合	20.0%	31.0%	令和4年度成人歯科健診
7	19歳~39歳における歯肉に炎症所見を有する者の割合	15.0%	43.1%	令和4年度成人歯科健診
8	40歳以上における歯周炎を有する者の割合	40.0%	63.7%	令和4年度成人歯科健診
9	40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合	5.0%	18.5%	令和4年度市民健康意識調査
10	60歳以上におけるむし歯の根面むし歯を有する者の割合	5.0%	-	-
11	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	85.0%	61.9%	令和4年度市民健康意識調査

### V-2 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	50歳以上における咀嚼良好者の割合	80.0%	71.6%	令和4年度市民健康意識調査
2	40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合【V-1より再掲】	5.0%	18.5%	令和4年度市民健康意識調査

### V-3 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

No.	目標項目	目標値 (R17年度)	現状値 (R4年度)	データソース
1	3歳児でフッ化物応用の経験がある者の割合	80.0%	-	-
2	19歳以上で過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	95.0%	61.4%	令和4年度市民健康意識調査
3	訪問歯科診療を実施している歯科医院数	増加	23件	令和4年度市内歯科医院訪問歯科診療実施状況調査(医療機関数83件)